

ものづくり技術
一般型
設備投資

高度色彩選別機の導入による味噌用 麦原料の異物混入防止並びに品質の向上

合資会社藤澤精麦工場



最先端の技術が導入された高度色彩選別機



精麦原料に異物が混入していないか
細心の注意が施される



新しい選別機の導入に伴い、原料移送のシステムも変更した

01 企業情報 profile

会社名 合資会社藤澤精麦工場
代表者 無限責任社員 藤澤 潤三
所在地 〒875-0053 大分県臼杵市大字福良248番地
TEL.0972-62-3382 FAX.0972-62-3537
E-Mail mugifuji@sawa@us.oct-net.jp(担当 藤澤 潤三)
事業内容 食品製造業・精麦業
資本金 65万円
創業 大正元年
設立 昭和27年3月
社員数 5名

02 概要 outline

主要取引先が味噌用麦原料の異物混入防止対策強化に伴い、従来の色彩選別機から高度色彩選別機を導入。県外の同業大手精麦工場では異物(草の実＝カラスノエンドウ)は検出されないが、弊社製品のみ検出され改善課題となっている。新たに取引先と同じ高度色彩選別機を導入し、品質の向上を目指す。

03 背景・経緯 background

全国一の精麦需要がある大分で 食の安全・安心対策を求められる

合資会社藤澤精麦工場は、大麦の外皮を剥いて味噌や焼酎の原料に加工する精麦を生業とする老舗の工場である。戦前は県内に約40社ほど精麦工場が存在していたが、戦後の経済成長に伴う食生活の変化で麦ごはんを食べる機会が少なくなり、それに伴って精麦工場も激減。全国大手精麦工場の進出もあり、現在独自で運営している精麦工場は同社だけになってしまっている。

それでも大分県は全国一の麦焼酎出荷量を誇り、味噌用麦の需要も高い。農水省の統計によると精麦数量において、焼酎用麦では全国精麦数量の約16万トンに対し約11万トン(約70%)、味噌用麦は全国約2万トンに対し約5千トン(約25%)が必要されており、高いシェアを維持している。

藤澤精麦工場は、そのうち年間約1千2百トンの精麦を手がける工場である。味噌用麦の製造を主とする同社であるが、なかでも納入契約を結んでいる地元・臼杵の大手味噌メーカーへは、同メーカーが使用する年間精麦量約3千トンのうち約7百トンを納品しているという。

ところで近年、食品の安全・安心に関わる事故・事件が世間を賑わせており、食品の異物混入の状況・事情に関して、消費者が大きな関心を寄せる時代になってきている。精麦業界においても規制は厳しくなっており、ガラス、石、鉄、プラスチック、木くず、虫はもちろんのこと、カラスノエンドウに代表される草の実や茎の異物等をいかに根絶するかが、大きな課題となってきている。

04 事業内容 details

納品先メーカーの要求に対応し 最新式の高性能色彩選別機を導入

食品業界における食の安全・安心の傾向が強まるなか、味噌醸造用の精麦原料を手がける業界では、安定した品質を供給するため、最先端の異物除去選別機を導入することで、味噌メーカーの要求に対応してきた。

藤澤精麦工場も同様の対応策を講じてきたのだが、平成25年に上述の大口納品先である地元味噌メーカーが異物混入防止をより強化するため、原料受入り時に従来の色彩選別機から、高性能の色彩選

別機を新規導入した。その結果、藤澤精麦工場が納品した精麦原料から直径2ミリほどの草の実が20トンあたり10数粒程度検出された。メーカー側から、さらなる品質改善を求められ、本件の高度色彩選別機の導入に踏み切った。因みに同社以外に納品している県外大手精麦会社は、すべて高度選別機に対応しており、異物は検出されなかったという。

新規導入した色彩選別機はハイテクを駆使した仕様となっており、高性能フルカラーCCDカメラや近赤外カメラで精麦原料を1秒間に60コマ～100コマ撮影し、デジタル画像処理で不良粒の性状を捉えて異物を判別し、確実に除去するという。

また同社では、新しい色彩選別機への原料移送を、バケット式搬送エレベーターから吸引式エア搬送装置3台を導入。麦の粉や微細な軽量異物を除く搬送設備として機能させた。

05 成果 achievement

高い精度を誇る色彩選別機が 安全・安心のものづくりを保証

納品先の地元味噌メーカーからの要求に、ものづくり補助金を活用して迅速な対応ができたおかげで、メーカーからの受注が再開し、極端に減少していた売上も元に戻った。

最先端の色彩選別機を使用していることで高い品質が保証され、安全・安心の精麦製品を納品できる体制を整えることができた。

06 展望 future

高品質の確保による受注量増大と あらたな販路拡大へ

本事業により高い品質が安定した結果、メーカー側からの信頼度が高まったほか、現在700トンの受注を2割アップさせる体制も整った。さらに焼酎用麦の分野への販路拡大も期待できる。

同社のあらたな成長戦略が楽しみだ。

まとめ point

納品先ならびに社会の要求に応え、
安全・安心のものづくり体制を確保。
販路拡大への取り組みにも期待。